

計画の名称	安心して快適にくらせるまちをつくる下水道																	
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	愛川町															
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																	
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道による「するすみ排水区」の浸水対策達成率を33.9% (H22) から35.4% (H25) に増加させる。 ②主要な管渠で耐用年数が経過している人孔鉄蓋の地震対策実施率を20.7% (H22) から46.5% (H24) に増加させる ③第5処理分区において、主要な汚水管渠の長寿命化計画策定率を0%から85.6%に増加させる ④下水道による「宮沢排水区」の浸水対策達成率を82.9% (H22) から98.8% (H27) に増加させる。 ⑤下水道事業計画区域内で主要な汚水管渠及び施設の長寿命化計画策定の基礎となる、下水道管路施設管理計画基本構想策定率を0%から100%に増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式	①下水道による浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、本町で定めている5年に1回発生する規模の雨量に対して安全であるよう、下水道雨水整備が完了している区域の面積割合。 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)		定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H23当初)    中間目標値 (H25末)    最終目標値 (H27末)	備考														
①下水道による浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、本町で定めている5年に1回発生する規模の雨量に対して安全であるよう、下水道雨水整備が完了している区域の面積割合。 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	33.9% 計画 33.9% 実績	35.4% 計画 35.4% 実績	35.4% 計画 35.4% 実績															
②主要な管渠 (人孔鉄蓋) の地震対策実施率 主要な管渠で耐用年数が経過している人孔鉄蓋のうち、改築が完了した箇所数 / 主要な管渠で耐用年数が経過し改築が必要な人孔鉄蓋の箇所数	20.7% 計画 20.7% 実績	39.9% 計画 46.5% 実績	46.5% 計画 46.5% 実績															
③第5処理分区において主要な汚水管渠の長寿命化計画策定率 主要な汚水管渠で長寿命化計画策定済み延長 (m) / 主要な汚水管渠で長寿命化計画を策定すべき延長 (m)	0.0% 計画 0.0% 実績	38.0% 計画 43.1% 実績	85.6% 計画 100.0% 実績															
④下水道による浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、本町で定めている5年に1回発生する規模の雨量に対して安全であるよう、下水道雨水整備が完了している区域の面積割合。 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	82.9% 計画 82.9% 実績	86.0% 計画 86.0% 実績	98.8% 計画 97.3% 実績															
⑤下水道事業計画区域内で主要な汚水管渠及び施設の長寿命化計画策定の基礎となる、下水道管路施設管理計画基本構想策定率 主要な汚水管渠及び施設で長寿命化計画策定時に必要となる対象区域 (ha) / 主要な汚水管渠及び施設で長寿命化計画策定時に必要となる対象区域 (ha)	0.0% 計画 0.0% 実績	0.0% 計画 0.0% 実績	100.0% 計画 100.0% 実績															
全体事業費	合計 (A+B+C) 223 184	A 223 184	B 0 0	C 0 0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 0.0% 0.0%													
事後評価 (中間評価)																		
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																		
事後評価 (中間評価) の実施体制			事後評価 (中間評価) の実施時期															
愛川町建設部下水道課内において実施			事業終了後 公表の方法 愛川町ホームページ上にて公表															
1. 交付対象事業の進捗状況																		
上段： 計画 <span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: black;"></span> 下段： 実績 <span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: red;"></span>																		
1. 交付対象事業の進捗状況																		
A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	進捗状況	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27			
A1-1-1	下水道	一般	愛川町	直接	-	雨水	新設	するすみ排水区 (浸水対策)	L= 32.9 m L= 32.9 m	100%	<span style="display: inline-block; width: 100%; height: 10px; background-color: red;"></span>					8.0	計画	
A1-1-2	下水道	一般	愛川町	直接	-	汚水	改築	マンホール鉄蓋改築 (長寿命化)	N= 384 箇所 N= 384 箇所	100%	<span style="display: inline-block; width: 100%; height: 10px; background-color: red;"></span>					7.6	実績	
A1-1-3	下水道	一般	愛川町	直接	-	汚水	改築	管渠長寿命化調査計画策定	調査計画策定 調査計画策定	100%	<span style="display: inline-block; width: 100%; height: 10px; background-color: red;"></span>					36.0	計画	
A1-1-4	下水道	一般	愛川町	直接	-	雨水	新設	宮沢排水区 (浸水対策)	L= 389m (21ha) L= 289m (20.74ha)	97%	<span style="display: inline-block; width: 97%; height: 10px; background-color: red;"></span>					70.7	実績	
A1-1-5	下水道	一般	愛川町	直接	-	汚水	改築	管渠及び施設長寿命化調査計画策定	A= 877 h a A= 877 h a	100%	<span style="display: inline-block; width: 100%; height: 10px; background-color: red;"></span>					16.0	計画	
																12.1	実績	
											合計					223.0	計画	
											合計						184.4	実績

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	進捗状況	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	進捗状況	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<p>①下水道による浸水対策達成率：雨水整備による浸水対策を実施し、浸水対策達成率の向上を図ることができ、目標の達成になった。</p> <p>②人孔鉄蓋の改築率：標準耐用年数の経過した鉄蓋を改築し、老朽化による事故を未然に防げた。</p> <p>③第5処理分区の長寿命化計画調査策定率：幹線管渠等の調査によって、老朽化度合いが調査され、緊急度判定ができた。</p> <p>④下水道による宮沢排水区の浸水対策達成率：雨水整備による浸水対策を実施し、浸水対策達成率の向上を図ることができ、概ねの目標の達成になった。</p> <p>⑤管路施設基本構想策定率：主要な污水管渠及び施設の長寿命化計画の基礎となる基本構想が把握できた。</p>				
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による浸水対策達成率）	最終目標値	35.4%	目標値と実績値に差が出た要因	社会資本整備総合交付金の有効活用により、当初調査計画以上の目標が達成された。	
		最終実績値	35.4%			
	指標②（耐用年数が経過している人孔鉄蓋の改築率）	最終目標値	46.5%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	46.5%			
	指標③（主要な污水管渠の長寿命化計画の策定率）	最終目標値	85.6%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	100.0%			
	指標④（下水道による浸水対策達成率）	最終目標値	98.8%	目標値と実績値に差が出た要因		優先順位を見直したところ、長寿命化調査計画策定業務を先行したため、雨水の整備に遅れが生じてしまい実施することが出来ず目標値に達成しなかった。
		最終実績値	97.3%			
	指標⑤（下水道污水管渠及び施設管理計画基本構想策定率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	100.0%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		污水管渠等の施設をカメラ調査等で緊急度判定ができ、ストックマネジメント計画を踏まえた長寿命化計画策定の基礎資料が把握できた。				
3. 特記事項（今後の方針等）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路施設の長寿命化調査を継続し、管路施設の調査・診断を進めストックマネジメント計画を踏まえて長寿命化計画を策定し、管路施設の改築業務を進めていく。</li> <li>・近年局地的に発生している集中豪雨等により、雨水管渠未整備区域において、次期社会資本整備整備計画に位置付け、継続的に整備を進めていく。</li> </ul>						

